

地方の財政 [3] 分権化定理

別所俊一郎

前回までのあらすじ

3

- 財政の果たすべき役割とは：Musgraveの3機能
 - 資源配分，所得再分配，マクロ調整
- 政府内部でその機能をどのように分担すべきか？
 - 中央政府と地方政府のあいだの権限配分
 - 資源配分機能：公共財の便益の及ぶ範囲に対応させる
 - 所得再分配機能：中央政府
 - マクロ調整機能：中央政府
- 中央政府と地方政府のあいだの権限配分の別の側面
 - 地方分権のメリットとデメリット
 - とくに資源配分機能に着目
 - 前回の機能配分論では考慮されていなかったことがある
 - 情報の非対称性など

分権化定理

4

- 地方分権の理論的基礎
 - 「もし，地方政府が知っていて中央政府が知らないような地域独自のニーズが存在するなら，各種公共サービスの供給量の決定を地方政府に任せようが効率的な資源配分に資する」
- 地域独自のニーズ？
 - 公園・生活道路・公衆衛生・上下水道などの生活インフラをどのように整備すべきか
 - 気候や地理的条件，経済状況，社会状況をどのように考慮すべきか
 - 道路や橋をどこに作るか，バス停をどこに設置するか.....
 - 地方政府のほうが情報上の優位にあると思われる

分権化定理の対象となる事業

5

- 地域公共財がおもな対象
 - 復習：「公共財」は財の物理的性質で定義される
 - 非競合性：一人が消費した財を他の人も消費できる
 - 非排除性：財の消費をさまたげることができない
 - 公的部門が提供しているものが公共財，ではない
 - 地域公共財
 - その財を消費(しようとする)する人がある地域に限定される公共財
- 地方政府が提供しているほかの財やサービスにも適用
 - 住民全体が効用を得るものであれば私的財であってもよい
 - 社会的観点から安定的・公平な供給が求められるメリット財でもよい

分権化定理の説明

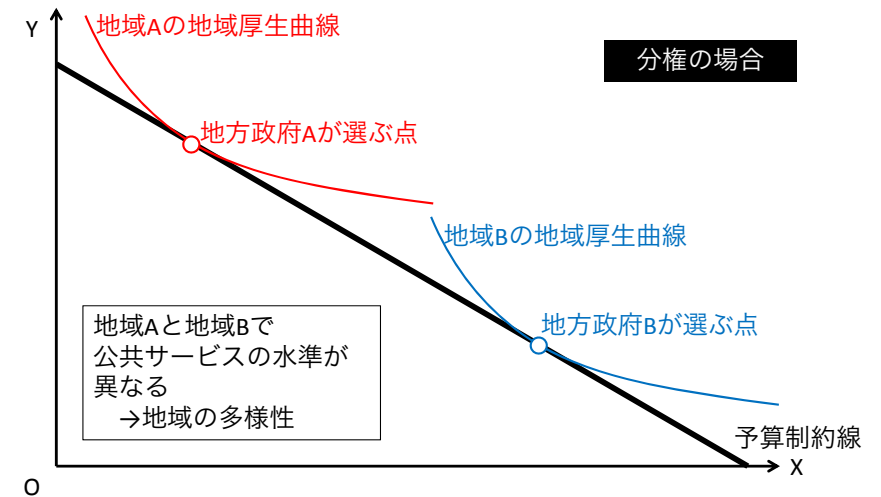
6

- 設定
 - 地域Aと地域Bがある
 - それぞれ公共サービスX, 公共サービスYの供給量を決める
 - 地域の住民は公共サービスX, Yから効用を得る
 - 2つの公共サービスに使える財源は一定で, 地域A, Bで同じ
- 中央集権と地方分権の設定
 - 中央集権
 - 中央政府は地方の実情を知らないで, 地域A, Bの両方で同じ水準の公共サービスX, Yを提供
 - 地方分権
 - 地方政府は地方の実情を知っているで, それぞれの地域で住民の効用(地域厚生関数)を最大にするように公共サービスの量を決定: たとえば投票による(中位投票者の仮定)
- 結論: 地域厚生水準は地方分権のほうが高い

分権化定理の説明

7

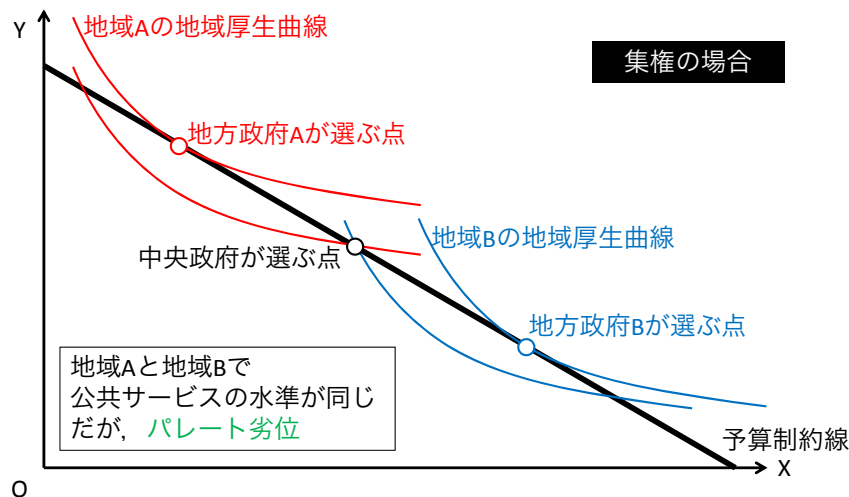
- 横軸にX, 縦軸にYをとったグラフを描こう



分権化定理の説明

8

- 中央政府は, たとえば地域AとBの平均的なところを選ぶ



分権化定理の注意点

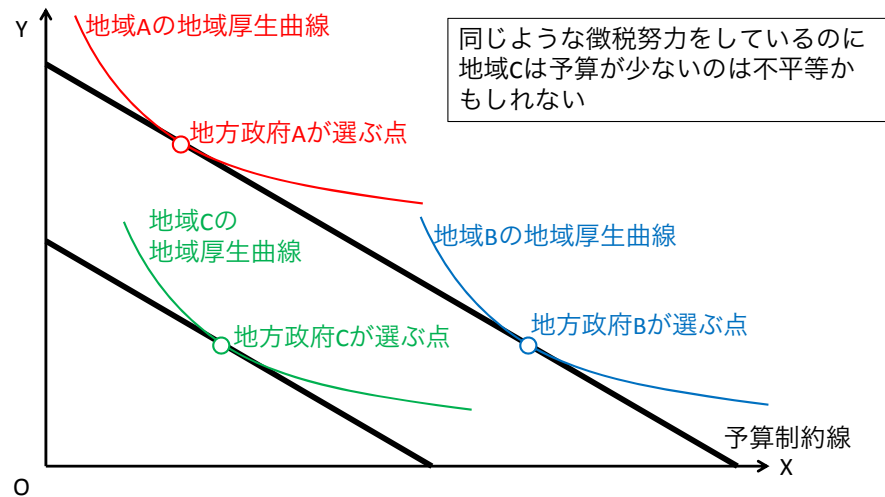
9

- 地方の情報上の優位?
 - 中央政府も出先機関を持っていたり, 統計を取っていたり
 - 比較可能なように規格化された情報で, 情報が落ちる部分もある
 - 文書や数字に表現しにくい情報が大事なかもしれない
 - 地元でないとうからないものが多い: 住民の好みとか
- 「格差」と「多様性」の違い
 - 地方分権は公共サービスの組合せの違いを生む: 多様性
 - それぞれの地方の実情に即したサービスを行なっているため
 - 住民の好み異なるため: 年齢構成・産業構造・気候など
- この設定では, 利用可能な予算が同じ2地域を比較
 - なので, 「格差」は存在しない
 - でも実際には?

多様性と不平等

10

- 平等ではないと考えたほうがよい場合



分権化定理の前提

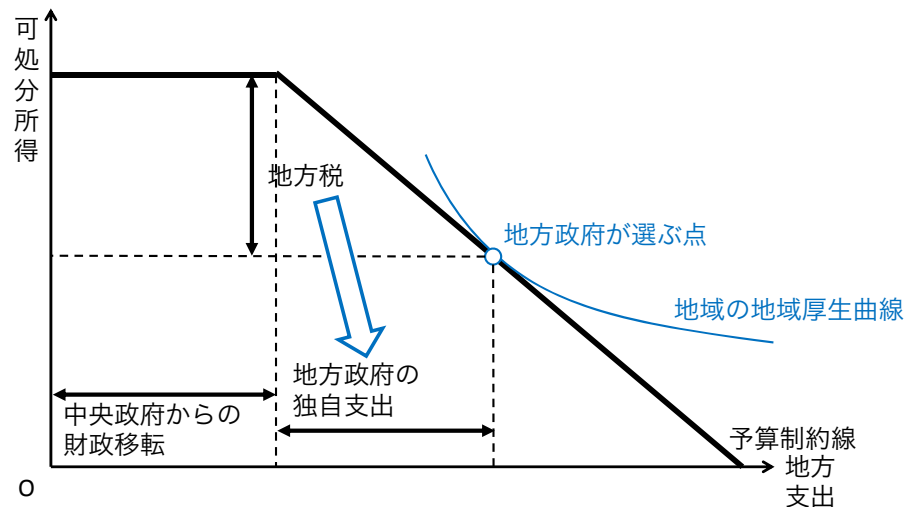
11

- 地方政府の責任
 - 公共サービスの選択・選別を行う必要
 - 「お仕着せ」の選択ではなく、自ら優先順位をつけている
 - ここでは補助金などを考えていない
- 限界的財政責任
 - 限界的な(最後の)1円の使い方、徴収を地方政府が責任をもって決めて行うこと
 - 国の基準や全国平均などと比べて充実した公共サービスが必要であれば、追加分については地方税を徴収して提供すべき
 - ただしここでは、公共サービスに使う予算の大きさが決まったものとして議論してきた

限界的財政責任：税と支出

12

- 横軸に公共サービス予算，縦軸に可処分所得をとる



分権化の前提

13

- 「地域厚生関数」を最大にするように地方政府が決める
 -というのは、現実的に妥当か？
 - 知事や市町村長はそのように行動しているのか？
 - 利害団体からの影響を受けるのではないか？
 - 投票率もそれほど高くないところが多い
- 前提が妥当でないとすると.....
 - 地域厚生関数を最大にするような仕組みを考える
 - 競争による規律付け
 - 住民によるvoice and exit
 - 現実をうまく描写するような設定に変える
 - 公共選択論的な、